



えいごであそぼ!

ALTとみんなで遊ぼう!

8月6日(土)と17日(水)野市中央公民館で「えいごであそぼ!」が開催されました。就学前の2歳から6歳までの子ども33人が、高知工科大学や香南市のALTの外国人の先生と一緒に、英語で楽しく歌ったり、ゲームをして遊びました。

先生は、英語で子どもに話しかけます。小さい子は日本語もままならないですが、じーっと先生が話すのを一生懸命聞いている様子。お兄ちゃんお姉ちゃんの動きに合わせて楽しく踊っていました。初めは恥ずかしがっていた子も、最後には元気に「Thank you! See you!」。
ありがとう またね



106点の絵が語る戦争の記憶

「38度線を越えて」

8月13日(土)から21日(日)まで野市図書館で、戦争の体験を描いた106点の絵が展示されました。これは野市町在住の早野朝子さんが、戦中戦後に北朝鮮から日本に帰るまでの記憶を長年描き続けたものです。

早野さんは、説明文を添えた絵をじっと見詰める来場者に、ときおり声を掛け当時を振り返っていました。「忘れたくても忘れられない記憶です。描き続けることができるのは、戦争で亡くなった方の力やと思います。この絵をみて子どもたちに、何かを感じ取ってほしい」と呼びかけていました。



▲訪れた小学生に当時の様子を語る早野さん

終戦翌日の悲劇

消防本部ラッパ班による吹奏

震洋隊慰霊祭



8月16日(火)夜須町住吉で、震洋隊慰霊祭が行われました。終戦翌日、謎の出撃準備中に爆発事故が起こり犠牲となった111人の旧海軍特攻隊「震洋隊」隊員の冥福を、約60人の参列者が祈りました。慰霊祭は、震洋隊奉賛会(中村昌直会長)が主催し、昭和31年から毎年実施。昨年に続き、元隊員の出席する姿が見えず、遺族も3人と高齢化が進んでいるようです。中村会長は「戦後66年間、平和が保たれていることへ改めて感謝し、無念の死を遂げた若者のための供養を続け、英霊を顕彰していきたい」と述べました。

目指せ!未来の横綱

みちのく けいこ 陸奥親方 稽古見学



8月20日(土)香我美小学校相撲場で、香南少年相撲クラブの11人を対象に、陸奥親方(元大関霧島)を迎えての稽古指導が行われました。これは、監督の岡林勝盛さんの弟が、現在相撲甚句を務めており、縁あって陸奥親方をお願いしたところ実現。子どもたちは、大物登場にやや緊張した様子でしたが、元気良く声を出し、四股や摺り足といった基本動作を真剣な姿勢で取り組んでいました。陸奥親方は「相撲で体力や礼儀を身につけながら、いろんなスポーツにチャレンジしてほしい」とエールを送りました。
※甚句…力士が歌う民謡の一種。大相撲の巡業などで披露される七五調の囃子歌

自転車リレーでつなぐ霊場巡り

四国霊場88サイクル駅伝

8月11日(木)、四国霊場八十八カ所を自転車をつなぐ「88サイクル駅伝」(同実行委員会主催)の走者が香南市野市町にある28番札所・大日寺に到着しました。

今回で7回目の開催となった駅伝は、8日に香川県善通寺市の75番札所・善通寺を出発し、16日までの9日間で四国4県約1400キロを207人が納経軸をバトン代わりにリレーで巡りました。また、今年は、東日本大震災の被災地復興祈願として3本の掛け軸を各寺で奉納し、宮城・福島・岩手の被災地3県それぞれに届ける予定になっています。



▲29番札所・国分寺に向けて出発する自転車隊

物部川の自然を守ろう!

物部川環境学習バスツアー

8月1日(月)香南市、香美市、南国市の小学3年生から6年生まで、約80人が物部川の環境を学ぶバスツアー「もっと知りたい!!物部川(上流編)」に参加しました。

子どもたちは、香美市の山で木を間伐することの大切さや物部森林ストックヤード(木材集出荷施設)で切り出された木材がどのように運ばれているかなどを勉強しました。昼食には山や川の恵みの「シカカレー」や「アメゴの塩焼き」をほおぼり、日ノ御子河川児童公園で川遊びを体験しました。「来年もぜひ、参加したい!」という声が多く、夏の定番イベントになりそうです。



大きなノコギリで木を切り出します

おいしそう!食べちゃいたい

シリコンホイップ教室



7月27日(水)夜須中央公民館で、夏休み子ども体験教室として、シリコンホイップ教室が行われました。シリコンをホイップクリームに見立ててパフェ作りに挑戦した親子など30人は、トッピングにスポンジやムース粘土、化粧品のアイシャドーなどを使って、果物やカステラ、チョコレートなどを本物そっくりに作っていました。参加した子どもたちは「トッピングのパーツ作りは難しかったけど楽しかった。夏休みの宿題に出します」と、作品の出来栄に大満足の様子でした。

可愛くできました

